Genie®
A TEREX COMPANY

操作説明書

GRC-12

ANSI/CSA
North America
South America
Asia

メンテナンス
情報付き

First Edition
First Printing
Part No. 133135JA

重要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許されます。本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。質問がございましたら Genie Industries までご連絡ください。

目次

ページ
はじめに 1
マークと危険を表すイラストの定義 3
一般的な安全 5
作業員の安全 9
作業場の安全 10
説明 16
操作パネル 17
点検 20
操作手順 32
輸送およびリフトの手順 37
メンテナンス 40
仕様 42

お問合せ先：

インターネット：www.genielift.com
電子メール：techpub@genieind.com

Copyright © 2008 Genie Industries

第 1 版： 第 1 刷、2008 年 7 月

「Genie」は米国およびその他の国における Genie Industries の登録商標です。「Runabout」は Genie Industries の商標です。

♻ 再生紙使用 L

Printed in U.S.A.

はじめに

所有者、ユーザー、およびオペレータ：

当社の製品をお選びいただき、ありがとうございます。当社はユーザーの安全を最優先に考えており、その達成には皆様のご協力が必要です。装置のユーザーまたはオペレータとして次の点を実施いただくことによって、安全に大きく貢献いただけると考えます。

1 従業員規則、作業現場の規則、および法規に**従う**。

2 本マニュアルなど、装置に付属しているマニュアルの指示を**読み、理解して従う。**

3 作業場における**一般的な安全管理を行う。**

4 **訓練を受けたオペレータあるいは承認されたオペレータだけが、**事情に通じ知識が豊富な従業員の指示を受けながら機械を操作する。

本マニュアルで明らかでない点、または追加するべき点がある場合は、ご連絡ください。

インターネット：www.genielift.com

電子メール：techpub@genieind.com

危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、重傷または死に至ることがあります。

操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を承知し理解する。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品取扱説明書と安全規則—安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者は安全に機械操作を行うための適切なトレーニングを受ける。

はじめに

危険の分類

Genieでは、識別しやすいよう、下記のようなマーク、色分け、および警告用語を使用しています。



安全警報マーク — ケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルの安全警告に従ってください。

⚠ 危 険
赤

回避しないと、重傷または死に至る危険があることを示します。

⚠ 警 告
オレンジ

回避しないと、重傷または死に至る可能性のある危険があることを示します。

⚠ 要注意
黄

回避しないと、軽度または中程度のケガを負う可能性のある危険があることを示します。

注 意
青

物的損害の注意を示します。

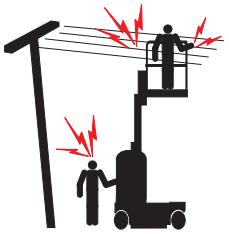
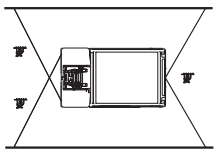
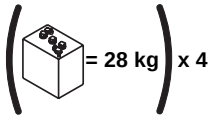
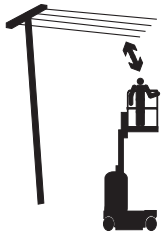
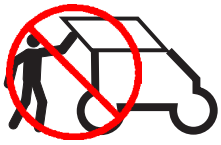
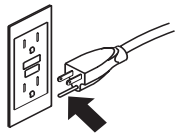
用途

本製品は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることのみを用途としています。

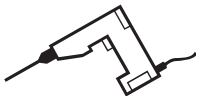
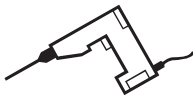
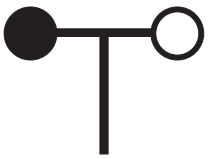
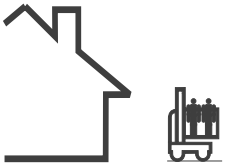
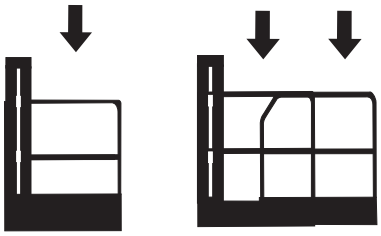
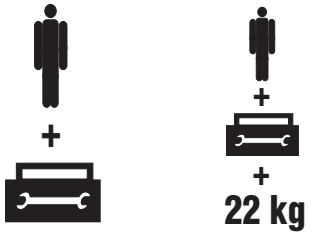
安全ステッカーの保守

安全ステッカーがない場合または破損している場合は、新しいステッカーを貼付します。常にオペレータの安全に配慮してください。安全ステッカーの汚れを取るには、刺激の少ないせっけんと水を使用します。安全ステッカーの素材を傷つける場合があるため、溶剤を使用したクリーナーを使用しないでください。

マークと危険を表すイラストの定義

 操作説明書を読んでください	 サービスマニュアルを読んでください	 落下の危険	 禁煙	 衝突の危険
 衝突の危険	 転倒の危険	 転倒の危険	 紙を使用して漏れを調べてください	 感電の危険
 感電の危険	 爆発の危険	 火災の危険	 やけどの危険	 皮膚への噴射の危険
 輸送図	 固定用具	 可動部に近づかないでください	 平らな地面に機械を移動してください	 カウンターウェイトとして使用するバッテリー
 必要な間隔を維持してください	 適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください	 輪止めをかましてください	 ブレーキを解除してください	 接地されているAC 3 ピンのみ

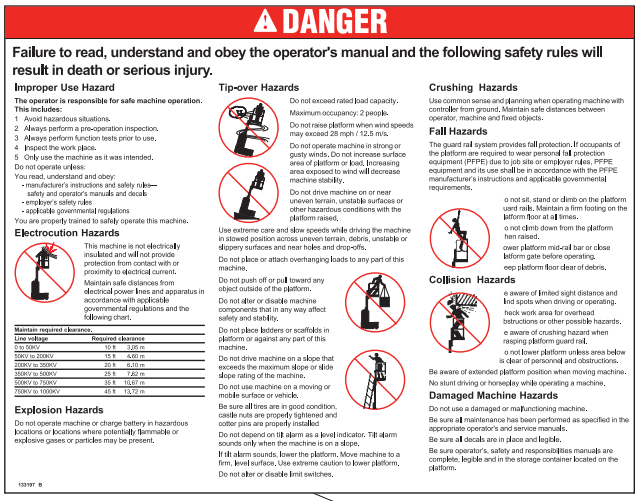
マークと危険を表すイラストの定義

 損傷した電線およびコードを交換してください	 車輪荷重	 側方圧	 安全帯の取り付け場所	 作業台への電力の定格電圧
 作業台への空気配管の定格圧力	 風速	 屋外		
 作業員を含む最大積載荷重量	 作業員、工具、トレイを含む最大積載荷重量			

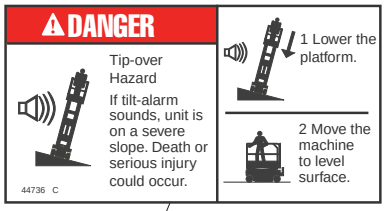
一般的な安全

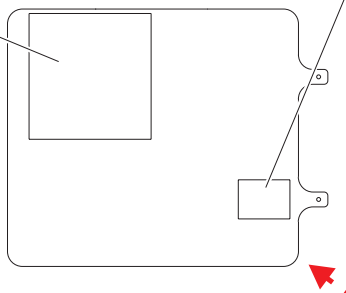
安全ステッカーと貼付場所
喚起語付きステッカー

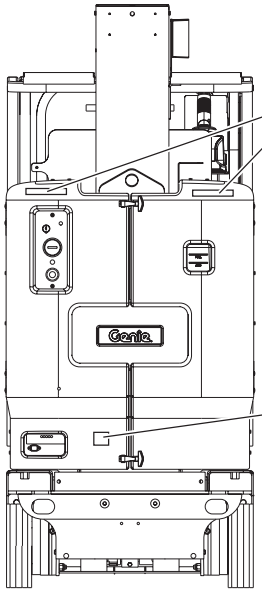
133197



44736





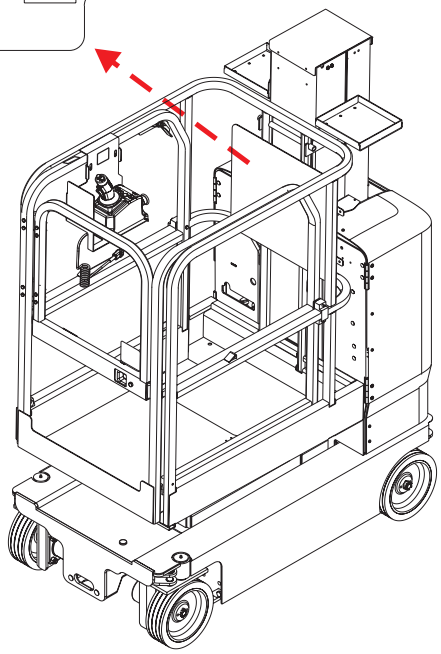


28161



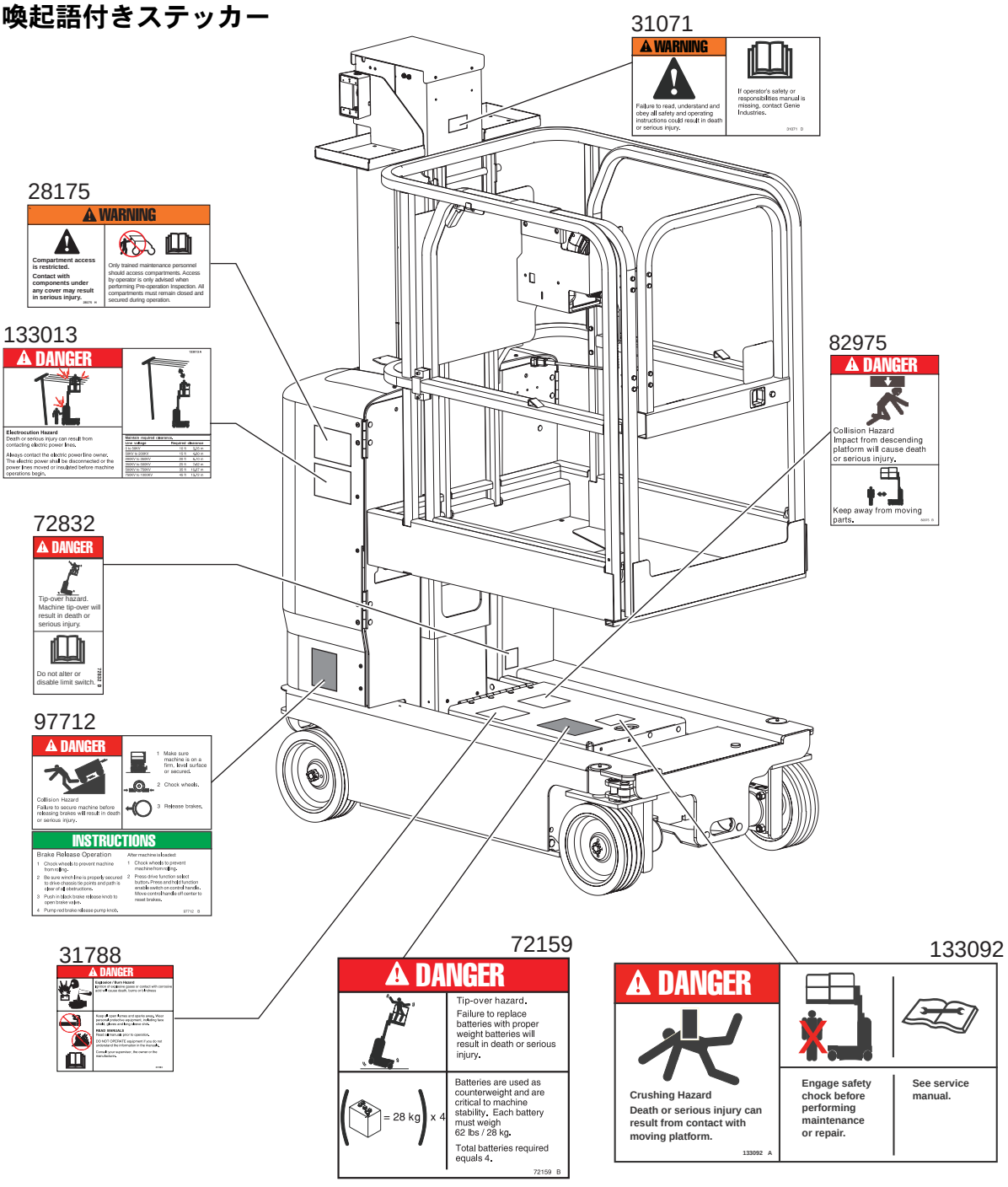
31508





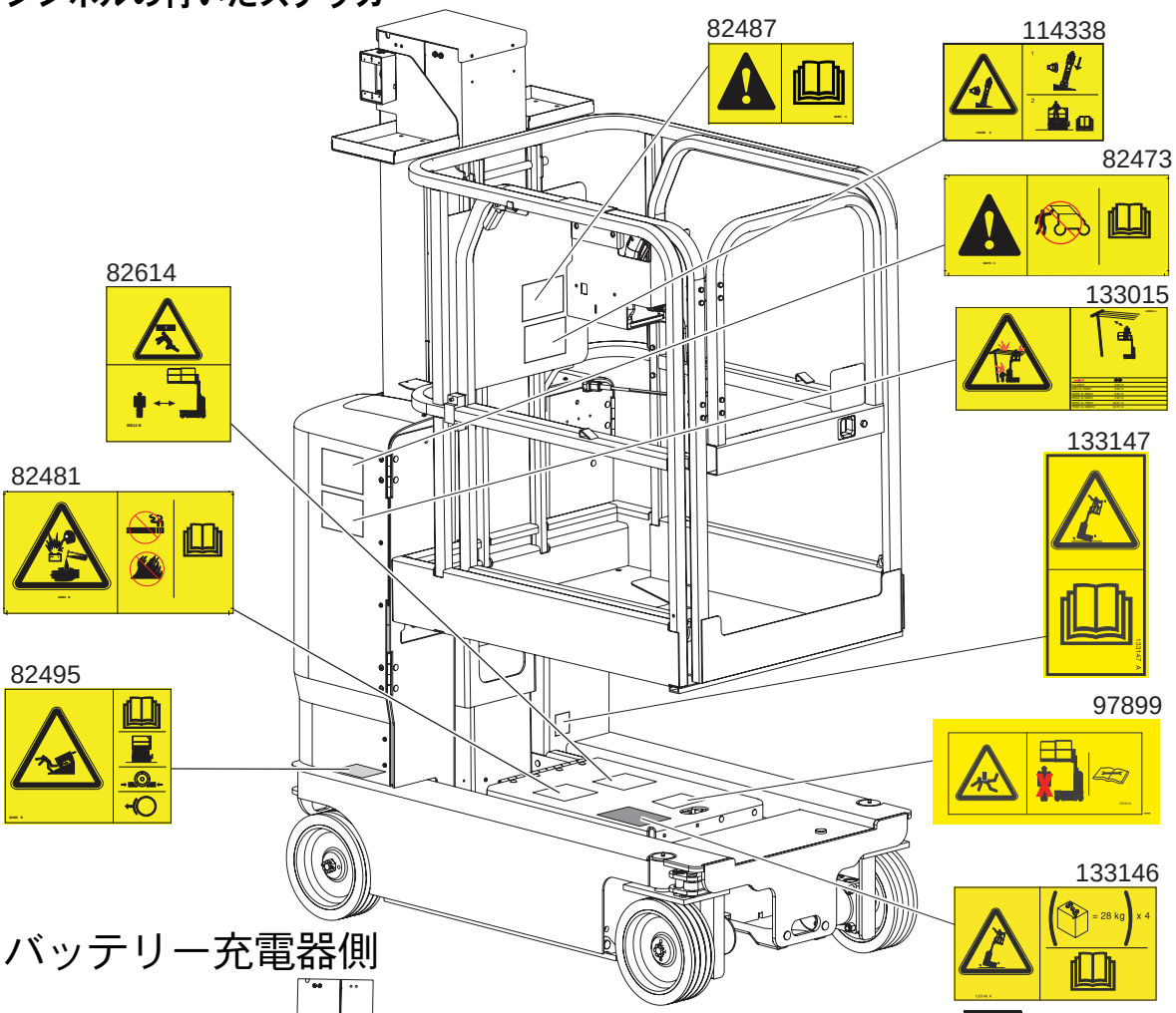
一般的な安全

安全ステッカーと貼付場所
喚起語付きステッカー



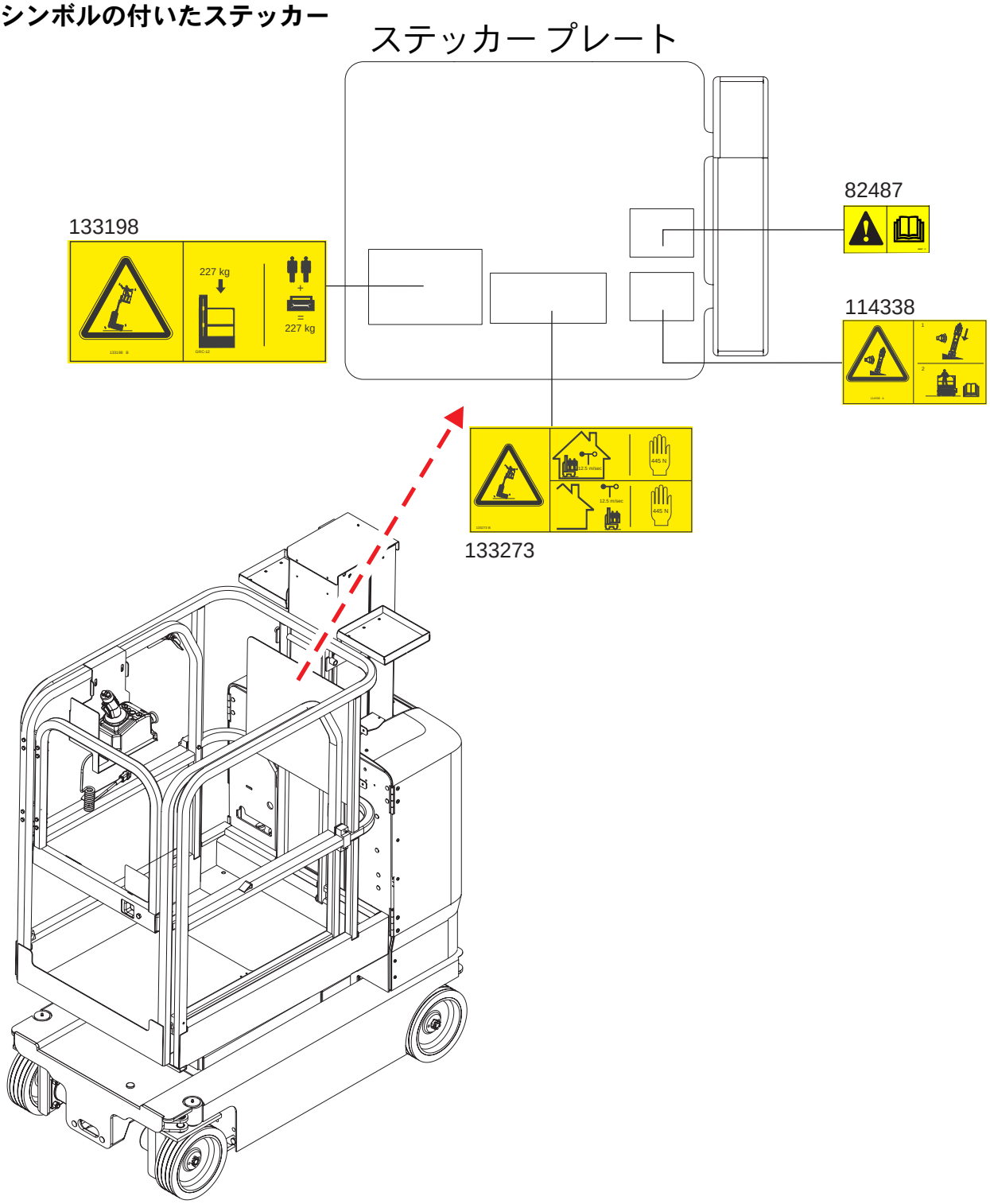
一般的な安全

安全ステッカーと貼付場所
シンボルの付いたステッカー



一般的な安全

安全ステッカーと貼付場所
シンボルの付いたステッカー



作業員の安全

落下防止

この機械を操作するとき、落下防止装置 (PEPE) の着用は必要ありません。PFPE が作業場規則や従業員規則で義務付けられている場合、以下が適用されます。

すべての PFPE は、適用される法規に準拠したものでなければならず、取扱説明書の指示に従って検査して使用してください。

作業場の安全

⚠ 感電の危険



この機械は絶縁されておらず、電流との接触または電流への近接に対する保護は施されていません。



適合する法規および次の表に従って、電線や電気装置から安全な距離を保ってください。

線間電圧	必要な距離
0～50KV	3.05 m
50KV～200KV	4.60 m
200KV～350KV	6.10 m
350KV～500KV	7.62 m
500KV～750KV	10.67 m
750KV～1000KV	13.72 m

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。

通電している電線に機械が接触している場合は、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで、絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

雷や暴風などの悪天候下では、機械を操作しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

⚠ 転倒の危険

作業員、装備、および機材は、作業台最大積載荷重量または作業台延長の最大積載荷重量を超えてはなりません。トレイの積載重量は、作業台積載荷重量に含まれます。

最大積載重量 - GRS-12	
収納された作業台	227 kg
作業台延長 - 作業台のみ 作業台延長 - 延長台のみ	113 kg 113 kg
作業ステーショントレイ(各)	11 kg
最大作業員数	2

227 kg 延長台のみ 113 kg　作業台のみ 113 kg





機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇させないでください。



水平位置の指標として傾斜アラームに依存しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面にある場合にのみバッテリー充電器内で鳴ります。

作業場の安全

傾斜アラームが鳴った場合：
作業台を下げます。機械を安定した平坦な地面に移動してください。作業台が上がっている状態で傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意を払って作業台を下げてください。

作業台を上げたままの状態で時速 0.8 km 以上で走行しないでください。

風速が秒速 12.5 m を超える場合はマストを上げないでください。秒速 12.5 m 以上の風速、強風、または突風のもとで作業台を上げている場合は、作業台を下げ、機械の操作を中止してください。



強風や突風の状況で機械を操作しないでください。作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。

収納した状態で、平らでない、障害物のある、不安定な場所、また滑りやすい場所を通って機械を走行しているとき、あるいはくぼみや急に低くなっている近辺で機械を走行しているときは、細心の注意をはらうとともに、機械を減速してください。



水平でない不安定な地面やその他の危険な状況では、作業台を上昇させて機械を走行させないでください。

機械をクレーンとして使用しないでください。

作業台を使って機械や他の物体を押さないでください。

作業台を近辺の建造物に接触させないでください。

作業台を近辺の建造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。

近くの構造物に挟まったり、引っ掛かったりして、通常の運行を妨げられている作業台を、作業台操作を使って解放しようとしないでください。作業員が作業台から降りてから、地上操作を使用して作業台を解放してください。



作業台の外にある物体を押したり、引っ張ったりしないでください。

モデル	最大側方圧力	最大収容数
ANSI/CSA	445 N	屋内/屋外 - 2

リミットスイッチを改造したり、使用不能にしたりしないでください。

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に影響する部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

作業場の安全

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーより軽いバッテリーは、使用しないでください。バッテリーはカウンターウェイトとして使用されており、機械の安定性に不可欠です。バッテリーの重量はそれぞれ 28 kg です。

製造元の書面による事前の許可なしに、高所作業台を変更したり改造したりしないでください。工具や他の機材を収納するためのアタッチメントを作業台、踏み板、もしくは手摺りに取り付けると、作業台の重量および作業台や積荷の表面積を増大させます。



機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。



はしごや足場を作業台に設置しないでください。また、本機械のどの部分にも立てかけないでください。



工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

タイヤがすべて良好な状態にあり、みぞ付きナットが適切に締められ、コッターピンが適切に設置されていることを確認してください。

⚠ 手のケガの危険

手や腕をマストに近づけないでください。

作業台やマストの下での作業は、必ずバッテリーカバーを上げた状態で行ってください。

地上からコントローラを使って機械を操作する際は、常識的な判断をもって行ってください。オペレータ、機械、固定物との間には安全な距離を保ってください。

⚠ 傾斜面での操作の危険

機械の定格勾配を超える傾斜や横傾斜では、機械を走行しないでください。定格勾配は、機械が収納状態の場合にのみ適用されます。



最大定格勾配、作業台収納時	30% (17°)



最大定格横勾配、作業台収納時	30% (17°)

注記：定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。

⚠ 落下の危険

手摺りは落下防止用です。作業台の作業員が作業場規則や従業員規則に基づいて落下防止装備 (PFPE) を着用する必要がある場合は、PFPE 装備とその使い方について、PFPE 製品のメーカーの指示や適合する法規に従ってください。備え付けられている承認された安全帯取り付け場所を使用してください。

作業場の安全

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

ゲートが開いている場合は、ゲートを閉じてください。



作業台の手摺りの上に座ったり、立ったり、登ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。



作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

機械が作業台収納位置にない場合は、作業台に入ったり作業台から出たりしないでください。

⚠ 衝突の危険



走行または操作中は、視界の限度および死角に注意してください。

機械を移動する際は延長作業台の位置に注意してください。

ブレーキを解除する場合は、必ず機械を水平な地面に止めてから、もしくは固定してから行ってください。



作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。

作業台の手摺りにつかまっているときは、手を挟まないよう注意してください。



作業員は、安全装備の使用について、従業員規則、作業場規則、および適合する法規に従わなければなりません。

作業台を下げるときは、必ず作業台の下に人がいないこと、また障害物になるものがないことを確かめてから行ってください。



路面の状態、交通量、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものに従って、走行速度を制限してください。



頭上で作動中の機械あるいはクレーンの軌道上においては、クレーンの制御がロックされ、さらに衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、機械を操作しないでください。

機械の操作時は、危険な走行や乱暴な運転をしないでください。

作業場の安全

⚠ 人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に染み込んだり、やけどを負う原因となります。

カバーの下の部品に不用意に触れると重傷を負うことがあります。適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。オペレータは、作業前の点検を行うときのみにこれらのコンパートメントにアクセスしてください。機械の操作中は、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

⚠ 爆発と火災の危険

可燃性ガス、爆発性ガス、もしくは微粒子が存在する危険な場所では、機械を操作したり、バッテリーを充電したりしないでください。

⚠ 機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて、作業を中止してください。

本説明書とサービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、作業台の上のマニュアル保管場所に置かれているようにしてください。

⚠ 部品の損傷の危険

バッテリーの充電には、24V より高い電圧の充電器を使用しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

⚠ バッテリーの安全管理

やけどの危険



バッテリーには酸が入っています。バッテリーを扱うときには、必ず保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

充電中はバッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

爆発の危険



火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出します。



バッテリートレイは、充電のすべてのサイクルが終了するまで開いたままの状態にしてください。



バッテリー端子またはケーブル留め金に金属製の工具で触れると火花を発することがあります。工具を使用するときは、接触させないように注意してください。

部品損傷の危険

バッテリーの充電には、24V より高い電圧の充電器を使用しないでください。

感電/やけどの危険



充電器は、接地されている AC3 ピン電気コンセントにのみ接続してください。

コード、ケーブルおよび配線の損傷を毎日点検してください。破損している部品は操作する前に取り替えてください。

バッテリー端末への接触による感電/やけどに注意してください。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

転倒の危険

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーより軽いバッテリーは、使用しないでください。バッテリーはカウンターウェイトとして使用されており、機械の安定性に不可欠です。バッテリーの重量はそれぞれ 28 kg です。

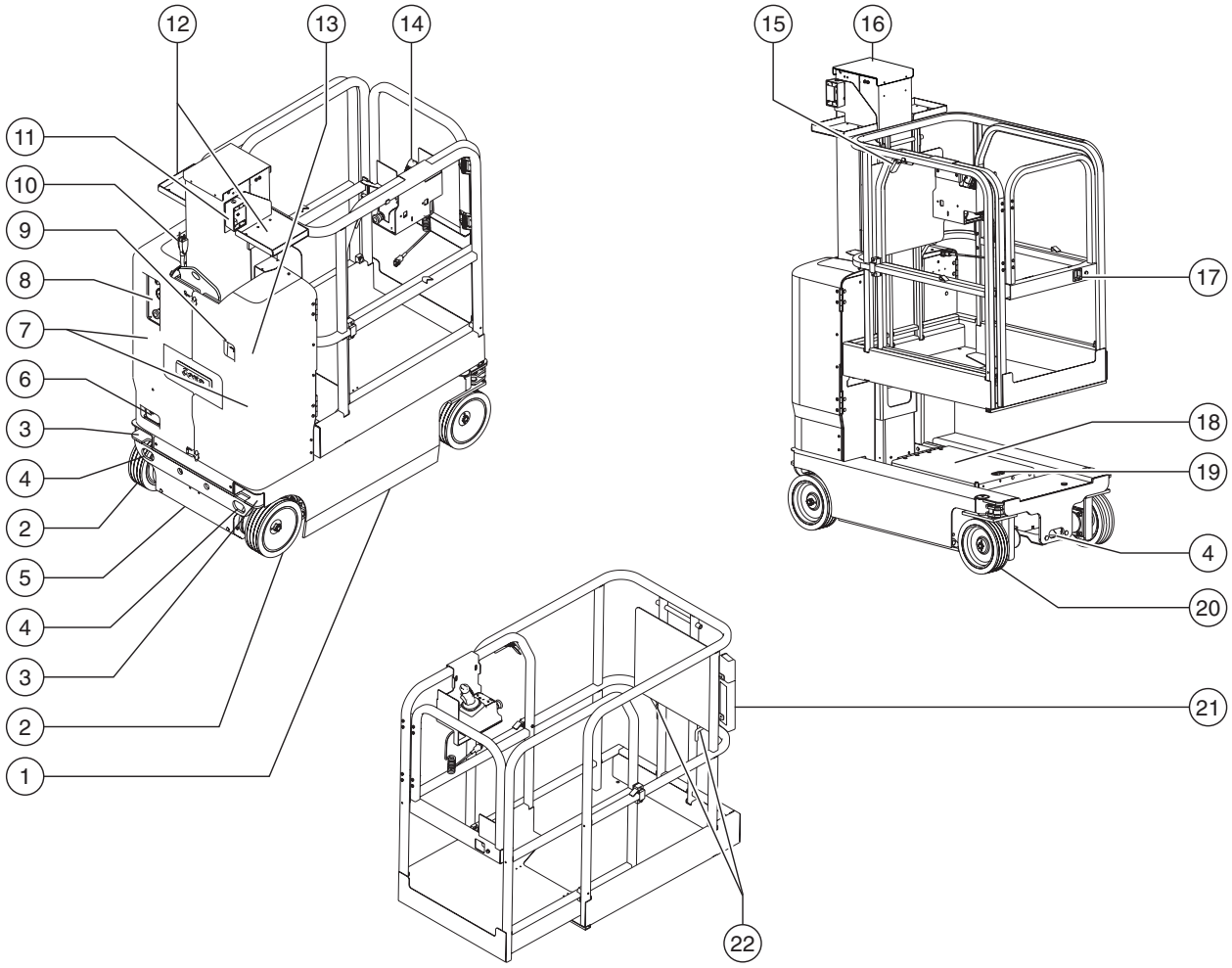
持ち上げ時の危険

バッテリーを持ち上げるときは、適切な人数と手段で行ってください。

使用後のロックアウト

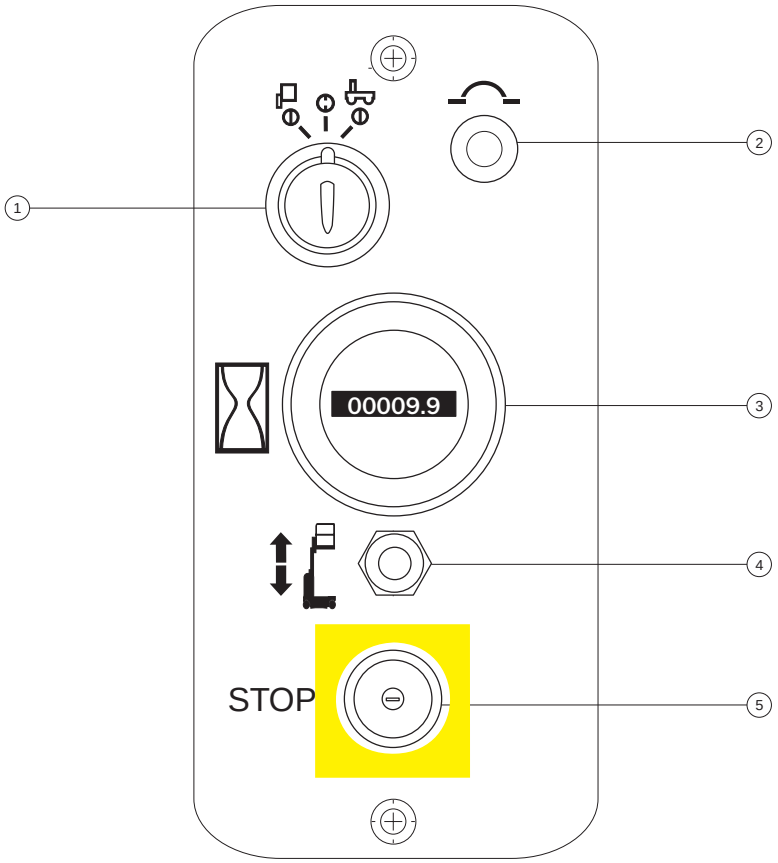
1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。
2 作業台を下げます。
3 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。
4 輪止めをかまします。
5 バッテリーを充電します。

説明



1 ポットホールガード
2 非操舵側タイヤ
3 フォークリフトポケット
4 輸送用の荷締め
5 緊急下降バルブ
6 充電器表示
7 カバー
8 地上操作パネル
9 作動油量表示器
10 作業台/オプション変換機の充電器接続への電力
11 GFCI コンセント
12 作業ステーショントレイ
13 ブレーキ解除ポンプノブ (カバー下)
14 作業台操作パネル
15 作業台延長解除レバー
16 マスト
17 作業台延長出入口ゲート
18 バッテリーコンパートメントカバー
19 バッテリーカバーラッチ
20 操舵輪
21 マニュアル保管場所
22 安全帯固定場所

操作パネル



地上操作パネル

1 作業台/オフ/地上操作選択用キースイッチ

キースイッチを作業台の位置に回すと、作業台操作パネルが作動します。キースイッチを オフの位置に回すと、機械はオフになります。キースイッチをベース位置に回すと、地上操作パネルが動作します。

2 電気回路用 7A ブレーカー

3 時間計

機械が使用された時間数を示します。

4 作業台上下トグルスイッチ

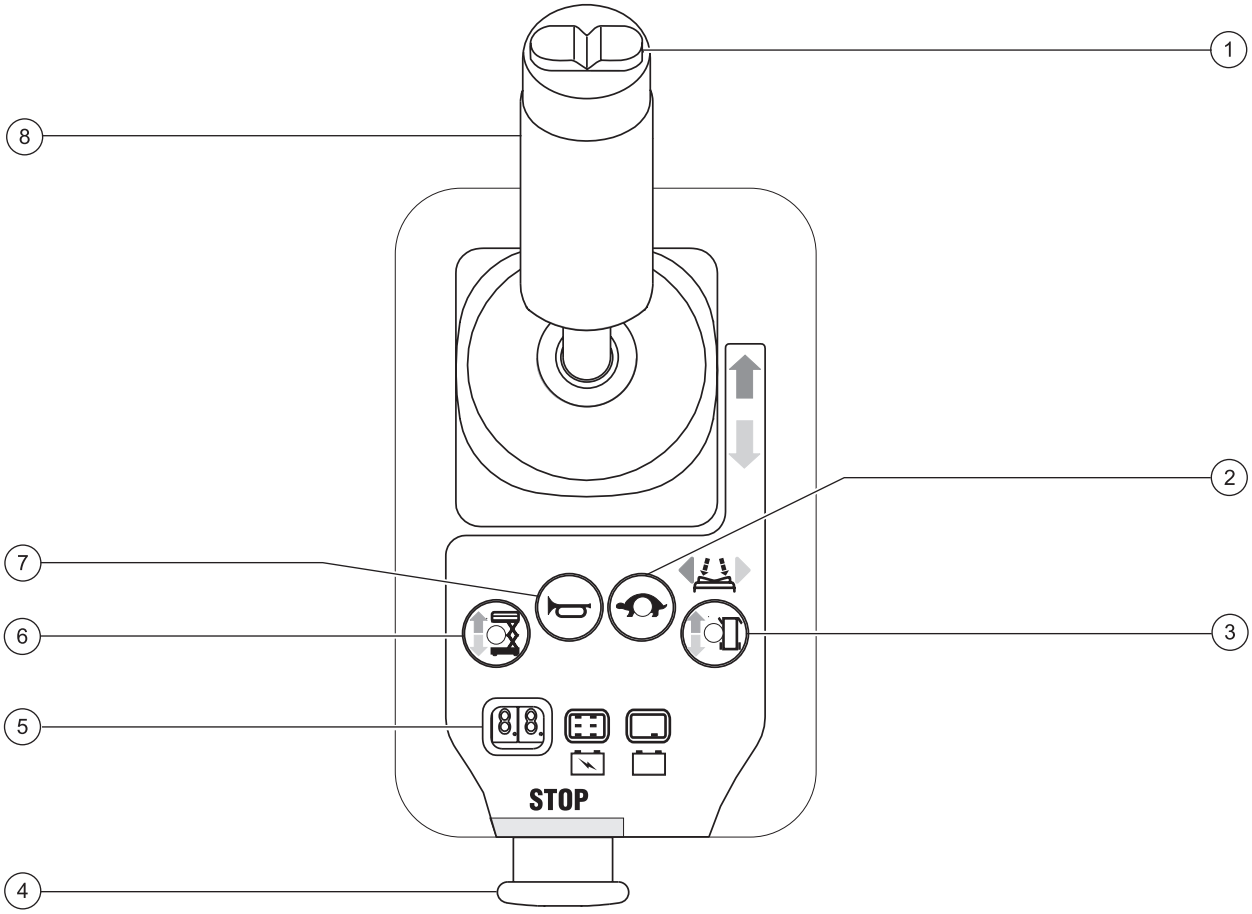


スイッチを上げると、作業台が上がります。スイッチを下げると、作業台が下がります。

5 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にすると、全機能が停止します。赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にして、機械を操作します。

操作パネル



作業台操作パネル

1 ステアリング機能用ロッカースイッチ
2 走行速度ボタン
3 走行機能選択ボタン
4 赤色非常停止ボタン
5 LED 診断計測値/バッテリー充電表示器
6 リフト機能選択ボタン
7 ホーンボタン
8 リフト・走行機能用の比例制御ハンドルおよび機能作動スイッチ

操作パネル

作業台操作パネル

1 ステアリング機能用ロッカー スイッチ

ロッカー スイッチをいずれかの方向に押して、ステアリング機能を作動させます。

2 走行速度ボタン

このボタンを押して、低速走行機能を作動させます。低速が選択されているとき、表示ランプがオンになります。

3 走行機能選択ボタン



このボタンを押して、走行機能を作動させます。

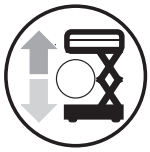
4 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押して オフの位置にすると、全機能が停止します。赤色非常停止ボタンを引いて オンの位置にして、機械を操作します。

5 LED

診断計測値およびバッテリー充電表示器

6 リフト機能選択ボタン



このボタンを押して、リフト機能を作動させます。

7 ホーン ボタン

ホーン ボタンを押すと、ホーンが鳴ります。ホーン ボタンを離すと、ホーンが止まります。

8 リフト・走行機能用の比例制御ハンドルおよび機能作動スイッチ

リフト機能：機能作動スイッチを押したままにすると、作業台コントロール ハンドルのリフト機能が作動します。コントロール ハンドルを青い矢印の方向へ動かすと、作業台が上がります。コントロール ハンドルを黄色の矢印の方向へ動かすと、作業台が下がります。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

走行機能：機能作動スイッチを押したままにすると、作業台コントロール ハンドルの走行機能が作動します。コントロール ハンドルを作業台出入口ゲートの青い矢印の方向に動かすと、青い矢印が指す方法へ機械が動きます。コントロール ハンドルを作業台出入口ゲートの黄色い矢印の方向に動かすと、黄色い矢印が指す方法へ機械が動きます。

点検



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

操作前の点検の基本

操作前の点検と規定メンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定メンテナンスが必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書で指定されている規定メンテナンス項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

損傷もしくは工場出荷時の状態からの無許可の改造を発見したら、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者がメーカーの製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

操作前の点検

- ❏ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されているようにしてください。
- ❏ すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあるか確認します。「点検」のセクションを参照してください。
- ❏ 作動油の漏れがなく、量が適当であることをチェックしてください。必要に応じてオイルを補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❏ バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかをチェックします。必要に応じて蒸留水を補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックしてください。

- ❏ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❏ 油圧ユニット、タンク、ホース、フィッティング、シリンダー、マニフォールド
- ❏ バッテリーパックと接続
- ❏ 駆動モーター
- ❏ タイヤとホイール
- ❏ アース用ストラップ
- ❏ リミットスイッチ、アラームと警報
- ❏ アラームとビーコン (搭載する場合)
- ❏ ナット、ボルト、他の締め具
- ❏ 作業台出入口ゲート
- ❏ シークエンスケーブルと滑車
- ❏ ポットホール・ガード
- ❏ 作業台延長部
- ❏ 作業トレイ
- ❏ ブレーキ解除部品
- ❏ バッテリーカバー
- ❏ マスト柱とカウンターウェイト
- ❏ 作業台操作ジョイスティック

機械全体を通して下記をチェックします。

- ❏ 溶接や機械部品の割れ
- ❏ 機械のへこみと故障
- ❏ 過度のさび、腐敗または酸化

- ❏ 機械を構成している全ての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にあることを確認します。

注記：機械を検査するために作業台を上げなければならない場合は、バッテリーカバーが所定の位置にあることを確認します。「操作手順」のセクションを参照してください。

点検



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

機能テストの基本

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従ってすべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に、操作前の点検と機能テストを再度実行してください。

点検

1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した水平な場所を選びます。

2 バッテリーが接続されていることを確認します。

地上操作

3 作業台操作と地上操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

4 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

5 作業台操作パネルにある診断 LED の計測値を確認します。

⊙ 結果：LED は右の図のように表示されているはずです。



非常停止のテスト

6 地上操作の赤色非常停止ボタンを押して オフ にします。

⊙ 結果：機能は何も作動しません。

7 赤色非常停止ボタンを引いてオン にします。

上昇/下降機能のテスト

この機械の警告音と標準ホーンはすべて同じ中央アラームから発せられます。ホーンは継続音です。下降アラームは毎分 60 回のビープ音を鳴らします。ポットホールガードが位置についていないことを警告するアラームは、毎分 300 回のビープ音を発します。機械が水平でないことを警告するアラームは、毎分 600 回のビープ音を発します。オプションで自動車のクラクションと同様のホーンを搭載することもできます。

8 上昇機能を作動します。

⊙ 結果：作業台が上昇します。

9 下降機能を作動します。

⊙ 結果：作業台が下降します。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

緊急下降のテスト

10 上昇機能を作動し、作業台を約 60 cm 上昇させます。

11 機械下部のマスト下にある緊急下降ノブを引きます。



⊙ 結果：作業台が下降します。下降アラームは鳴りません。

12 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

作業台操作

非常停止のテスト

13 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

⊙ 結果：機能は何も作動しません。

警報のテスト

14 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

15 ホーンボタンを押します。

⊙ 結果：ホーンが鳴ります。

点検

機能作動スイッチのテスト

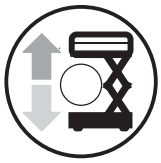
16 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしないでください。

17 コントロール ハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果：機能は何も作動しません。

上昇/下降機能のテスト

18 リフト機能選択ボタンを押します。



19 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

20 コントロール ハンドルを青い矢印の方向へゆっくりと動かします。

⊙ 結果：作業台が上昇します。ポットホール ガードが位置につきます。

21 コントロール ハンドルを放します。

⊙ 結果：作業台の上昇が止まります。

22 機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルを黄色い矢印の方向へゆっくりと動かします。

⊙ 結果：作業台が下降します。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

ステアリングのテスト

注記：ステアリングと走行機能テストを実施する際、作業台上で機械のステアリング側に向かって立ってください。

23 走行機能選択スイッチを押します。



24 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

25 コントロール ハンドルの上部にあるロッカースイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押します。

⊙ 結果：ステアリング ホイールが操作パネル上の青い三角が示す方向に回ります。

26 ロッカースイッチを、操作パネルの黄色い三角の示す方向に押します。

⊙ 結果：ステアリング ホイールが操作パネル上の黄色い三角が示す方向に回ります。

点検

走行とブレーキのテスト

27 機能作動スイッチを押したままにします。

28 コントロール ハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果：機械が操作パネルの青い矢印の方向に動き、急停止します。

29 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

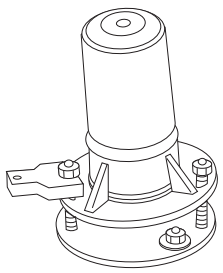
⊙ 結果：機械が操作パネルの黄色い矢印の方向に動き、急停止します。

注記：ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

傾斜センサーのテスト

30 地上操作カバーの後ろの地上操作パネルの上にある傾斜センサーを確認します。

31 傾斜センサーの片側を下に押し、傾斜センサーテストツールを一方の棒の下にします。



⊙ 結果：作業台のアラームは 1 秒後に鳴ります。

32 すべての地上操作と作業台操作の機能をテストします。

⊙ 結果：作業台が地上約 30 cm まで上がったら、リフト機能が停止し、アラームが鳴り、LED の計測値に LL と表示されます。

33 傾斜センサーテストツールを取り外します。

34 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

走行制限速度のテスト

35 リフト機能選択ボタンを押します。

36 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。作業台を地上約 60 cm まで上げます。

37 走行機能選択ボタンを押します。

38 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果：作業台が上昇した状態での最大走行速度は秒速 20 cm を越えてはいけません。

作業台を上げたままの状態の走行速度が秒速 20 cm を超える場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

点検

ポットホール・ガードのテスト

注記：作業台が上昇するとポットホール ガードが自動的に位置につきます。ポットホール ガードが別のリミット スイッチを作動させ、機械は引き続き機能します。ポットホール ガードが位置につかないときは、アラームが鳴り機械は走行しません。

39 作業台を上昇させます。

- 結果：作業台が地上約 1.2 m まで上がったら、ポットホールガードが位置につきます。

40 片側のポットホールガードを押し、その後もう一方を押します。

- 結果：ポットホールガードは動きません。

41 作業台を下げます。

- 結果：ポットホールガードが閉じた状態になります。

42 太さが 5x10 cm 程度の材木をポットホールガードの下に置きます。作業台を上昇させます。

- 結果：作業台が地上 2.1m まで上がる前にアラームが鳴り、走行機能は動作しません。

43 作業台を下げ、材木を取り除きます。

点検



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、セットアップ、運転の際に注意を払い、危険を回避してください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、これらを回避してください：

- 急に低くなっているところ、くぼみ
- でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- 傾斜面
- 不安定な地面、滑りやすい地面
- 頭上の障害物、高圧送電線
- 危険な場所
- 機械の重量に耐えられない地面
- 風や天候の状態
- 関係作業員以外の人の存在
- その他、起こりうる危険な状態

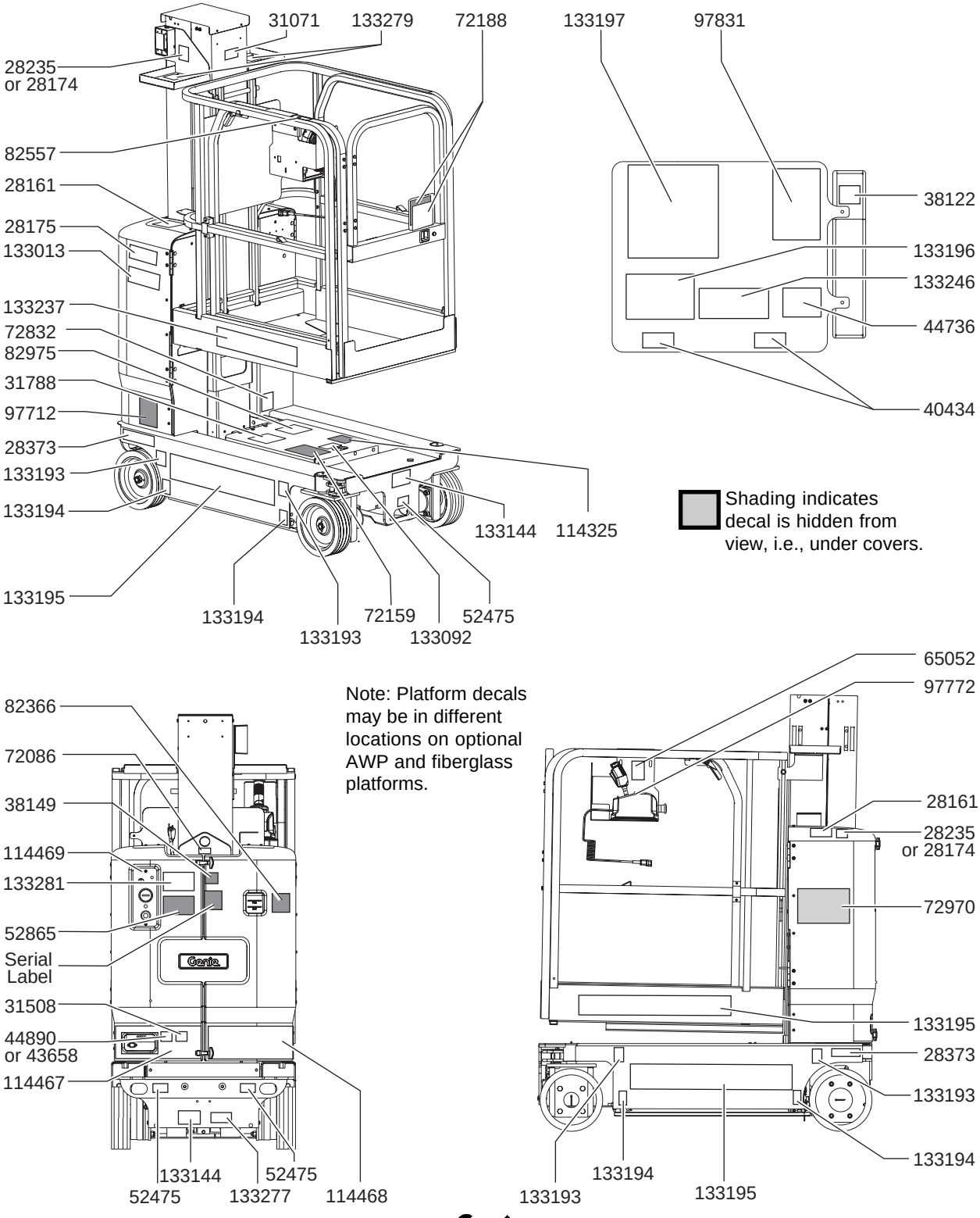
点検

注意喚起語付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

Part No.	Description	Quantity
28161	Warning - Crushing Hazard	2
28174	Label - Power to Platform, 230V	2
28175	Warning - Compartment Access	1
28235	Label - Power to Platform, 115V	2
28373	Label - Forklift Pocket	2
31071	Warning - Failure to Read Manual	1
31508	Danger - Electrocution Hazard, Plugs	1
31788	Danger - Battery/Charger Safety	1
38122	Label - Manual Storage Container	1
38149	Label - Patents	1
40434	Label - Lanyard Anchorage	2
43658	Label - Power to Charger, 230V	1
44736	Danger - Tip-over Hazard, Tilt Alarm	1
44980	Label - Power to Charger, 115V	1
52475	Label - Transport Tie-down	3
52865	Warning - Annual Service Inspection	1
65052	Label - ECM Fault Codes	1
72086	Label - Lifting Eye	1
72159	Danger - Tip-over Hazard, Batteries	1
72188	Label - Directional Arrows	2
72832	Danger - Do Not Alter Limit Switch	1
72970	Instructions - Battery Charger Operations	1
82366	Label - Chevron Rykon	1
82557	Label - Platform Controls Location	1
82975	Danger - Collision Hazard	1
97712	Instructions - Brake Release Safety and Operation	1
97772	Platform Control Panel	1
97831	Instructions - Operating Instructions, Platform	1
114325	Instructions - Battery Connection Diagram	1
114467	Cosmetic - Grey Stripe, Left Side	1
114468	Cosmetic - Grey Stripe, Right Side	1
114469	Ground Control Panel	1
133013	Danger - Electrocution Hazard	1
133092	Danger - Crushing Hazard, Use Safety Chock	1
133144	Label - Transport Diagram	2
133193	Label - Tire Specifications	4
133194	Label - Wheel Load, GRC-12	4
133195	Cosmetic - Genie GRC-12	2
133196	Instructions - Max Capacity, 227 kg, GRC-12	1
133197	Danger - General Safety Rules	1
133237	Cosmetic - Genie Runabout Contractor	2
133246	Instructions - Max Side Force, 445 N, ANSI & CSA	1
133277	Label - Emergency Lowering	1
133279	Instructions - Max Capacity, Work Station Tray, 11 kg (each)	2
133281	Instructions - Operation, Ground Control	1

点検


31071
133279
72188
133197
97831
28235
or 28174
82557
28161
28175
133013
133237
72832
82975
31788
97712
28373
133193
133194
133195
38122
133196
133246
44736
40434
133144
114325
133194
72159
52475
133193
133092
Shading indicates decal is hidden from view, i.e., under covers.
Note: Platform decals may be in different locations on optional AWP and fiberglass platforms.
82366
72086
38149
114469
133281
52865
Serial Label
31508
44890
or 43658
114467
133144
52475
52475
133277
114468
65052
97772
28161
28235
or 28174
72970
133195
28373
133193
133194
133193
133194
133195

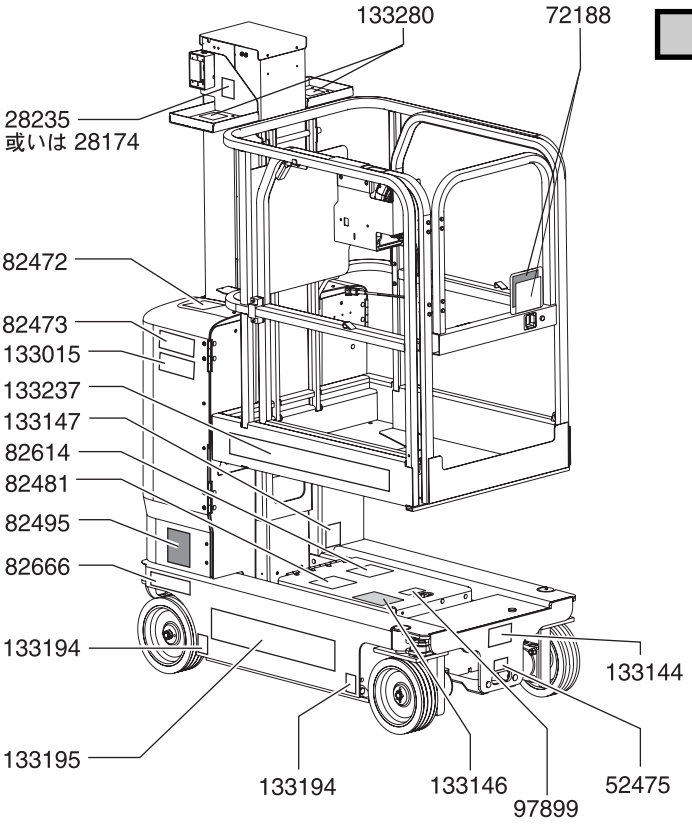
点検

シンボルのついたステッカーの点検

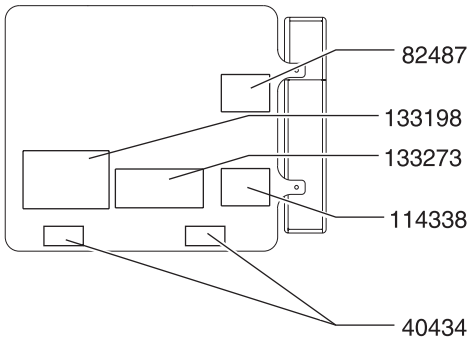
機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

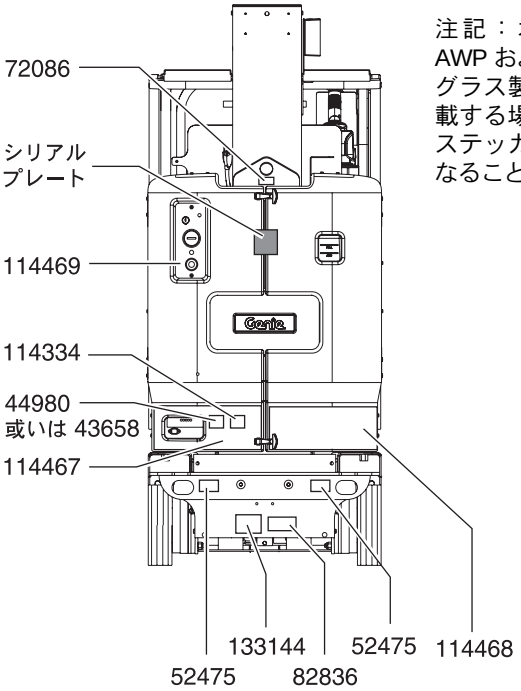
品番	説明	数量
28174	ラベル - 作業台への電力、230V	2
28235	ラベル - 作業台への電力、115V	2
40434	ラベル - 安全帯固定箇所	2
43658	ラベル - 充電器への電力、230V	1
44980	ラベル - 充電器への電力、115V	1
52475	ラベル - 輸送用の荷締め	3
72188	ラベル - 方向矢印	2
82472	警告 - 挟まる危険	2
82473	ラベル - コンパートメントへのアクセス	1
82481	危険 - バッテリーの安全	1
82487	ラベル - マニュアルを読む	2
82495	ラベル - ブレーキ解除の安全および操作	1
82614	ラベル - 衝突の危険	1
82666	ラベル - フォークリフト ポケット	2
82836	ラベル - 緊急下降	1
97772	作業台操作パネル	1
97899	ラベル - 安全輪止め	1
114334	ラベル - 感電の危険、プラグ	1
114338	ラベル - 転倒の危険、傾斜アラーム	1
114467	外装 - グレーストラップ、左側	1
114468	外装 - グレーストラップ、右側	1
114469	地上操作パネル	1
133015	ラベル - 感電の危険	1
133144	ラベル - 輸送図	2
133146	ラベル - 転倒の危険、バッテリー	1
133147	ラベル - 転倒の危険、リミットスイッチ	1
133194	ラベル - 輪荷重、GRC-12	4
133195	外装 - Genie GRC-12	2
133198	ラベル - 最大積載量 227 kg、GRC-12	1
133237	外装 - Genie Runabout Contractor	2
133273	ラベル - 最大側方圧力、445 N、ANSI	1
133280	ラベル - 最大積載荷重量、作業ステーショントレイ, 11 kg (各)	2

点検

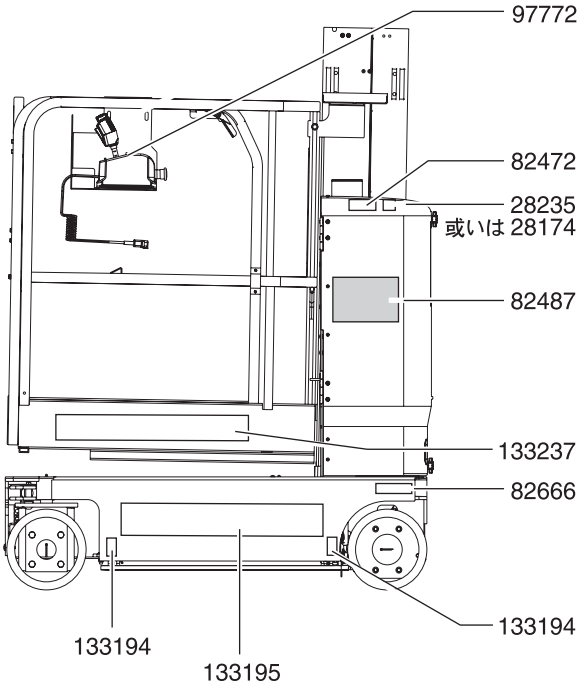


影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています(例：カバーの下など)。





注記：オプションの AWP およびファイバーグラス製の作業台を搭載する場合、作業台のステッカーの位置が異なることがあります。



操作手順



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことは、オペレータの任務です。

作業員を工具や機材と一緒に高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許可されます。複数のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、オペレータの安全および責任に関するマニュアルの安全規則と手順にすべて従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

操作手順

非常停止

地上もしくは作業台操作の赤色非常停止ボタンを押してオフにし、すべての機能を停止します。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動する機能は修理する必要があります。

緊急下降



1 緊急下降ノブを引きます。

地上からの操作

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 機械の操作前にバッテリー パックが接続されていることを確認します。

作業台を位置につける

1 操作パネルのマークに従って、トグル スイッチを上下に動かします。

走行とステアリング機能は地上操作から操作できません。

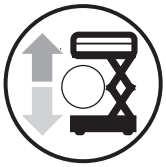
作業台からの操作

1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 機械の操作前にバッテリー パックが接続されていることを確認します。

作業台を位置につける



1 リフト機能選択ボタンを押します。

2 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

3 コントロール ハンドルを操作パネルのマークに従って動かします。

ステアリング



1 走行機能選択ボタンを押します。

2 コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

3 ステアリング ホイールをコントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチで回します。

走行

1 走行機能選択ボタンを押します。

2 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

3 速度を上げる：コントロール ハンドルを中心の位置からゆっくりと動かします。

速度を下げる：コントロール ハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

停止する：コントロール ハンドルを中心に戻すか、または、機能作動スイッチを放します。

作業台操作パネルと作業台の色別された方向矢印を使って、機械の進む方向を確認してください。

操作手順

作業台が上がった状態では走行スピードが制限されています。

バッテリー状態は機械の性能に影響します。バッテリーレベル表示ランプが点滅している時、機械の走行速度および機能速度は低下します。

走行速度の減速

走行コントロールでは、2つの異なる走行速度モードで操作することができます。走行速度ボタンのランプが点灯している場合は、走行速度モードが低速になっています。走行速度ボタンのランプが消えている場合は、走行速度モードが高速になっています。

走行速度ボタンを押して、任意の走行速度を選択します。

⚠ 傾斜面における走行

機械に対する縦傾斜および横傾斜の定格勾配を確認し、傾斜勾配を判断します。



最大定格勾配、収納時	30% (17°)



最大定格横勾配、収納時	30% (17°)

注記：定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。

走行速度ボタンを押して、走行速度モードを高速にします。

傾斜勾配の確認:

デジタル傾斜計を使用するか、あるいは以下の手順で傾斜を測定します。

必要なもの：

水準器

最低 1 m の長さの真っ直ぐな木片

巻尺

傾斜面の上に木片を置きます。

谷側の端で、木片の上端に水準器を置いた後、木片が水平になるまでその端を持ち上げます。

木片を水平に保ちながら、木片の底部から地面までの距離を測ります。

巻尺で測った地面からの距離 (高さ) を木片の長さ (水平距離) で割り、その数値に 100 を掛けます。

例：



水平距離= 3.6 m

高さ= 0.3 m

0.3 m ÷ 3.6 m = 0.083 x 100 = 8.3% 勾配

傾斜や横傾斜が最大定格勾配を超える場合は、ウィンチなどを使って機械を傾斜面の上や下に移動させる必要があります。「輸送およびリフト」のセクションを参照してください。

操作手順

エラー表示計測値



LED 診断計測値が LL などのエラーコードを表示している場合は、赤色非常停止ボタンを押し、その後ボタンを引いてシステムをリセットしてください。

ECM 故障コード

コード	状態
--	正常な状態
01	内部 ECM エラー
02	ECM/作業台通信エラー
03	作業台 DIP スイッチの設定が定義されていない
12	シャーシの上/下スイッチが機械始動時に閉じている
18	ポットホール ガードの故障
42	作業台左回転スイッチの故障
43	作業台右回転スイッチの故障
46	作業台走行機能スイッチの故障
47	作業台ジョイスティックの故障
52	前進コイルの故障
53	逆進コイルの故障
54	上昇コイルの故障
55	下降コイルの故障
56	右コイルの故障
57	左コイルの故障
58	ブレーキ コイルの故障
59	パラレル/シリアル コイルの故障
68	低電圧
LL	水平でない
OL	過負荷カットアウト オプション

詳しい情報については該当する Genie サービスマニュアルをご覧ください。

作業台の延長と収納

1 ホーンボタンを押したままの状態にします。

2 作業台手すりを持って慎重に押し、ロックされるまで作業台を延長します。

作業台コントローラを使った地上からの操作

オペレータ、機械、固定された物体の間に安全な距離を保ってください。

コントローラを使う際、機械が走行する方向に注意してください。

バッテリー レベル表示器



LED 診断計測値を使用して、バッテリー レベルを確認します。

操作手順



バッテリーと充電器の操作手順

必ず従うこと：

☑ 外部充電器またはブースターバッテリーを使用しないでください。

☑ よく換気された場所でバッテリーを充電してください。

☑ 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧を使用してください。

☑ Genie 承認のバッテリーと充電器のみを使用してください。

バッテリーの充電

1 充電前にバッテリーが接続されていることを確認します。

2 バッテリーのコンパートメントを開きます。充電中はコンパートメントを開いたままにします。

3 カバーをシャーシに立てかけます。

4 マストがバッテリーカバーに接触するまで作業台を下げてください。

⚠ 手のケガの危険作業台が降下しているときは、バッテリーカバーに手を近づけないでください。

5 キースイッチを回してオフにします。

6 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

メンテナンス不要のバッテリー

7 接地されている AC 回路に充電器を接続します。

8 バッテリーが完全に充電されると、充電器に表示されます。

標準バッテリー

7 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー液の量をチェックします。必要に応じて、プレートが隠れる程度に蒸留水を入れます。充電の前には液を入れすぎないでください。

8 バッテリー通気孔のキャップを再び取り付けます。

9 接地されている AC 回路に充電器を接続します。

10 バッテリーが完全に充電されると、充電器に表示されます。

11 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

乾式バッテリーの液注入と充電の手順

1 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー通気孔開口部のプラスチックシールを取り除きます。

2 それぞれのセルに、プレートが隠れる程度にバッテリー液(電解液)を入れます。

バッテリー充電のサイクルが終了するまでは、いっぱいに入れないでください。入れすぎると、充電中にバッテリー液があふれることがあります。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

3 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。

4 バッテリーを充電します。

5 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

輸送およびリフトの手順

必ず従うこと：

☑ Genie Industries は、固定に関して以下を推奨します。操縦者は、米国運輸省の規定、地域のその他の規定および自社の方針に従って、機械を正しく固定し、正しいトレーラーを選択することに関して、すべての責任を負っています。

☑ Genie の顧客が任意のリフトまたは Genie 製品をコンテナに収める必要がある場合には、建設用機器およびリフトを国際輸送用に準備、積載、固定する作業の専門知識を持つ、認定された運送会社に依頼してください。

☑ 機械のトラックからの積み下ろしは、認定を受けた高所リフト作業員のみが行ってください。

☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。

☑ 機械を載せる際は、輸送車両を動かないように固定してください。

☑ 車両の積載荷重量、積載面、チェーンやストラップが、機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。Genie リフトはそのサイズと比べるとかなりの重量があります。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。

☑ ブレーキを解除する場合は、必ず機械を水平な地面に止めてから、もしくは固定してから行ってください。

☑ 機械の定格勾配を超える傾斜や横傾斜では、機械を走行しないでください。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。

☑ 輸送車両の荷台の傾斜が最大定格勾配を越える場合、機械の積み下ろしの際には「ブレーキ解除操作」の指示どおりにウィンチを使用する必要があります。

ブレーキ解除操作

1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。



2 シャーシの荷締め箇所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

3 黒色のブレーキ解除ノブを押してブレーキ弁を開きます。



4 赤いブレーキ解除ポンプノブを押します。

機械を載せた後：

1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2 地上操作および作業台操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 走行機能選択ボタンを押します。コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルを中央から動かし、すぐに離して、ブレーキをリセットします。

4 地上操作と作業台操作の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

GRC-12 の牽引は推奨しません。牽引しなければならない場合は、時速 3.2 km を越えないでください。

輸送およびリフトの手順

⚠ 輸送用トラックあるいはトレーラーへの固定

輸送する場合は必ず前もって機械に輪止めをかましてください。

機械を輸送する際は、必ず延長デッキ ロックを使用してください。

輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

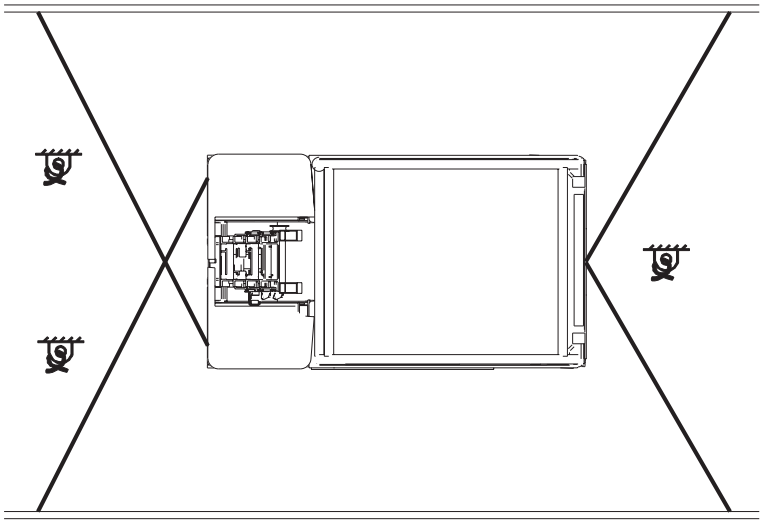
緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

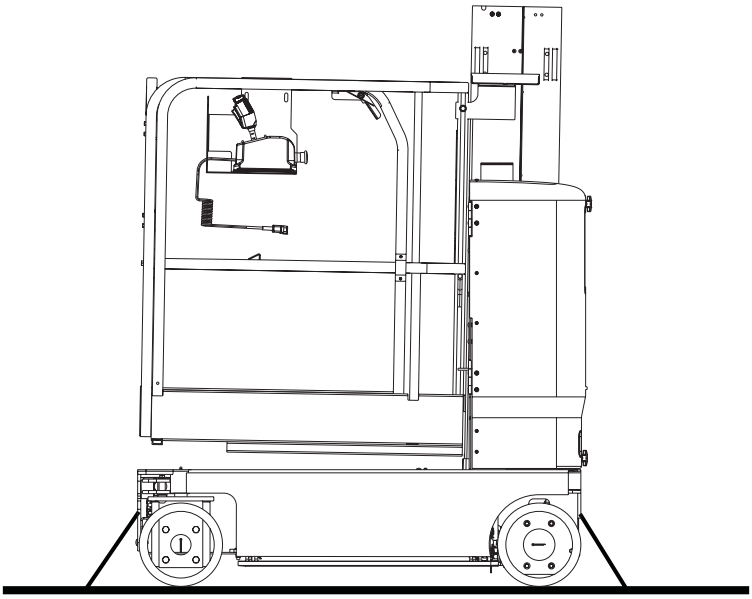
シャーシの荷締め箇所を使って輸送車両へ固定してください。

チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

最低でも 3 組のチェーンまたはストラップを使用してください。

チェーンの損傷を防ぐため、リギングを調節してください。





輸送およびリフトの手順

必ず従うこと：

- ☑ リギングおよびリフトを行うときは、必ず認定されているリガーを使用してください。
- ☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやロープが、機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。

⚠ クレーンによる機械の積載

マスト柱の後ろに取り付けられたリフト用金具を使用します。

マストが完全に下がっていることを確認します。

機械に緩んでいたり固定されていない箇所がないか点検します。

リフト用フックは、必ず機械と逆に向くようにリフト用金具に通してください。

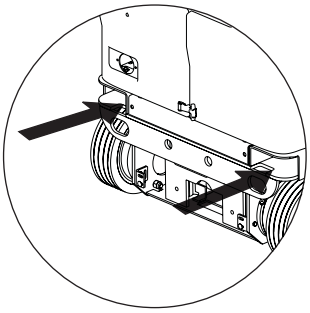


フォークリフトによる機械のリフト

延長デッキ、操作パネルおよび部品トレイが固定されていることを確認してください。機械の緩んでいる箇所はすべて取り外してください。

作業台を完全に下げます。作業台は、積載と輸送のすべての手順を行う間、下げたままにしておく必要があります。

カバーの下のシャーシの両面にあるフォークリフトポケットを使用します。



フォークリフトポケットでフォークリフトのフォークを所定の位置に配置します。

フォークが伸長する限度まで前進します。

機械を 15 cm 上げ、フォークを少し傾けて、機械の安定を保ちます。

フォークを下げたとき、機械が水平になっていることを確認します。

注 意 側面から機械をリフトすると、部品 を損傷する場合があります。

メンテナンス



必ず従うこと：

- ☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定メンテナンス項目のみを行います。
- ☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が、製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。
- ☑ Genie 承認の交換部品のみを使用してください。

メンテナンス記号の説明

以下の記号は、指示の目的をわかりやすくするために使用されています。メンテナンス手順の最初に記載されているシンボルは、次を意味しています。

この手順を行うために、工具が必要です。

この手順を行うために、新たな部品が必要です。

作動油量の点検

作動油量を適切なレベルにしておくことは機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品が損傷することがあります。点検担当者は、毎日チェックすることにより、作動油量の変化に気付き、油圧システムでの問題を早期に発見することができます。

注記：作業台を収納した状態でこの作業を行ってください。

1 油圧タンクのオイル量を目視点検します。

⊙ 結果：オイル量は、タンクのマークと同じである必要があります。

2 必要に応じてオイルを追加します。このときに入れすぎないようにしてください。

作動油の仕様	
作動油タイプ	Chevron Rykon Premium MV に相当

メンテナンス

バッテリーの点検



バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

注記：密封型またはメンテナンス不要のバッテリーを搭載する機械では、この手順は必要ありません。

⚠ 感電の危険。熱くなっている回路や通電している回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

⚠ 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

注記：このテストはバッテリーを完全に充電してから行ってください。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

3 バッテリー固定バーが適切に配置されていることを確認します。

注記：端子プロテクターや腐食防止シーリング剤を使用することによって、バッテリー端子やケーブルの腐食を防止することができます。

定期保守点検

四半期ごと、1年ごと、2年ごとに行われる保守点検は、本装置のメンテナンストレーニングを受け認定されている担当者が、本装置のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

仕様

GRC-12	
高さ、操作時最大	5.5 m
高さ、作業台最大	3.7 m
高さ、収納時最大	169.5 cm
高さ、収納時最大 標準作業台を含む長さ 作業ステーショントレイ	169.5 cm
幅	74.9 cm
長さ、作業台収納時	136.7 cm
標準作業台 延長台延長時	140 x 74.9 cm
標準作業台 延長台収納時	99 x 74.9 cm
最大積載荷重量、 標準作業台	227 kg
最大積載荷重量、 延長デッキ	113 kg
最大風速	秒速 12.5 m
旋回半径 (内側)	0 cm
旋回半径 (外側)	132.1 cm
最低地上高	6.4 cm
重量 (機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。)	869 kg
電源	バッテリー x 4、6V 225AH
操作パネル	比例
作業台 AC コンセント	標準

最大油圧力 (機能)	207 バール
タイヤ サイズ	25.4 x 7.6 x 2.5 cm
機械による騒音 標準的な作業場での最大音量 (A特性騒音レベル)	<70 dB
最大定格勾配、 作業台収納時	30% (17°)
最大定格横勾配	30% (17°)
注記： 定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。	
走行速度	
収納時、最大	時速 4.0 km 12.2 m/10.9 秒
作業台伸長時、最大	時速 0.8 km 12.2 m/55 秒
床荷重表	
最大輪荷重	345 kg
タイヤ接地圧	8.22 kg/cm^2 806.16 kPa
車体占有面の平均圧力	831.9 kg/m^2 8.33 kPa

注記： 床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。 安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

Genie North America
Tel. 425.881.1800
フリー 米国およびカナダ
ダイアル 800.536.1800
Fax 425.883.3475

Genie Australia Pty Ltd.
Tel. +61 7 3375 1660
Fax +61 7 3375 1002

Genie China
Tel. +86 21 53852570
Fax +86 21 53852569

Genie Malaysia
Tel. +65 98 480 775
Fax +65 67 533 544

Genie Japan
Tel. +81 3 3453 6082
Fax +81 3 3453 6083

Genie Korea
Tel. +82 25 587 267
Fax +82 25 583 910

Genie Brasil
Tel. +55 11 41 665 755
Fax +55 11 41 665 754

Genie Holland
Tel. +31 183 581 102
Fax +31 183 581 566

Genie Scandinavia
Tel. +46 31 575100
Fax +46 31 579020

Genie France
Tel. +33 (0)2 37 26 09 99
Fax +33 (0)2 37 26 09 98

Genie Iberica
Tel. +34 93 579 5042
Fax +34 93 579 5059

Genie Germany
Tel. +49 (0)4202 88520
Fax +49 (0)4202 8852-20

Genie U.K.
Tel. +44 (0)1476 584333
Fax +44 (0)1476 584334

Genie Mexico City
Tel. +52 55 5666 5242
Fax +52 55 5666 3241

代理店: